



第73回
九州歯科医学大会

くまもと × オンライン

国民医療とこれからの日本
～人生100年時代の歯科界が果たすべき役割～



九州地区連合歯科医師会 ×  

第73回

九州歯科医学大会

くまもと × オンライン

国民医療とこれからの日本

～人生100年時代の歯科界が果たすべき役割～

令和3年

10/23 土

- ・ルーム開場/12:30
- ・開会式/13:30
- ・終了/16:45(予定)



抄録



第73回 九州歯科医学大会

くもと × オンライン

国民医療とこれからの日本
～人生100年時代の歯科界が果たすべき役割～



目次

御挨拶	2
九州各県歯科医師会会長	3
第73回九州歯科医学大会委員会委員名簿	4
大会式次第/プログラム	5

学術講演

基調講演① 歯科医療と口腔健康管理の過去・現在・未来 <small>ほり けんろう</small> 公益社団法人 日本歯科医師会 会長 堀 憲郎	7
基調講演② 認知症と歯科 <small>きくたに たけし</small> ～認知症になる前にすること、認知症になったらすること～ 日本歯科大学 教授 菊谷 武	8
特別講演 この国の行方ー日本の在るべき姿ー <small>さくらい</small> ジャーナリスト 櫻井 よしこ	9



第73回九州歯科医学大会
会長

いとう あきひこ
伊藤 明彦

第73回九州歯科医学大会が開催されるにあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

当大会は、令和2年10月に開催される予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大のため開催を延期し、開催方法を検討してきました。当初は、熊本地震後の復興のシンボルとして建設された「サクラマチ熊本城ホール」に、各県の先生方や熊本県民の皆様にもお越しいただき、演者に日本歯科医師会堀会長、日本歯科大学の菊谷武教授、ジャーナリストとして我が国の第一線でご活躍中の櫻井よしこ様をお招きし、盛大に開催する予定でした。

一時期は、中止もやむなしとも考えましたが、今年ここにWebに形をかえて開催させていただくことになりました。演者の先生方には、再登壇に快諾いただき感謝に堪えません。

さて、昨今、超高齢社会における「健康寿命の延伸」という目標を達成する為に歯科医療が果たす役割は大きくなっており、口腔の健康が全身の健康に密接に関係していることが社会に広く認知されつつあります。

また、日本歯科医師会では「2040年を見据えた歯科ビジョン-令和における歯科医療の姿」を刊行し、20年後の歯科医療のあるべき姿を描き、これを基軸に据えて対応していく事になります。

そこで今大会は、「国民医療とこれからの日本～人生100年時代の歯科界が果たすべき役割～」をメインテーマとし、長寿社会における歯科の役割と国民とのかかわり方を前述の演者の先生方に3題のご講演をいただきます。皆様方には、改めて現代社会における医療の問題点と今後の歯科医療の展望について考える機会となればと思っております。

また今回は熊本県民の皆様にも視聴いただけるようにしておりますので、医療提供側だけでなく、広く県民全体で考える機会になることも期待しております。

新型コロナウイルスとの戦いの最中ではありますが、本県で九州歯科医学大会が開催され、多くの先生方と交流を深め、歯科医療について語り合える機会ができることは、熊本県歯科医師会並びに会員にとりまして大変意義深いことであります。

この大会が、これからの歯科医療の方向性を示す一助となります事を願い、また、参加いただきました全ての皆様の、益々のご活躍を祈念し、ご挨拶と致します。



佐賀県歯科医師会会長
門司 達也



福岡県歯科医師会会長
大山 茂



大分県歯科医師会会長
脇田 晴彦



長崎県歯科医師会会長
渋谷 昌史



熊本県歯科医師会会長
伊藤 明彦



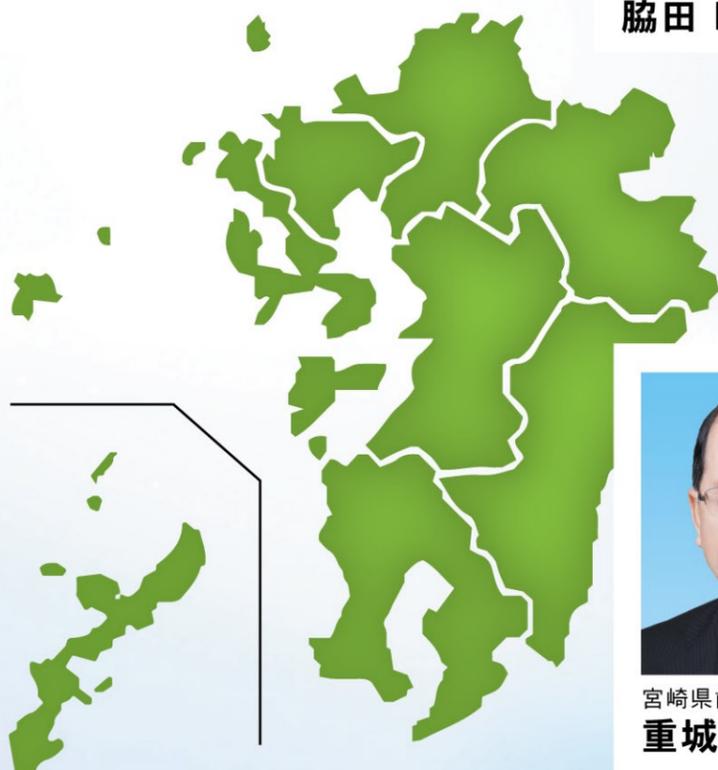
沖縄県歯科医師会会長
米須 敦子



宮崎県歯科医師会会長
重城 正敏



鹿児島県歯科医師会会長
伊地知 博史



大会会長	伊藤 明彦			
大会副会長	宮井 祐	椿 誠	松本 信久	
大会顧問	大山 茂	脇田 晴彦	門司 達也	渋谷 昌史
	伊地知 博史	重城 正敏	米須 敦子	
大会参与	川端 貴美子	木村 哲也	原 秀幸	田中 靖彦
	栄 千登美	黒木 康夫	渡慶次 彰	
	宮本 格尚	八木 義博	大林 裕明	田中 文丸
	宮坂 圭太	城 敦哉	武藤 健史	岩本 知之
	吉 永 修	山口 透	永田 英樹	齋藤 健三
	向江 富士夫	中嶋 敬介		
総務部 部長	牛島 隆			
部員	町田 由美子	三森 康弘	石井 洋一	
講演部 部長	松本 信久			
部員	長野 靖弘	工藤 智明	馬場 一英	
広告・会場部 部長	椿 誠			
部員	永松 聖隆	船津 雅彦	高水間 奨	野田 和宏
広報部 部長	宮井 祐			
部員	神崎 理子	椿 賢	五島 嘉人	
会計部 部長	宇治 信博			
部員	増田 憲元	水上 正太		
大会PR部	高松 尚史	立山 徹也	桐野 美孝	中村 圭介
	河原 正明	工藤 謙太郎	安光 千昭	有村 嘉人
	山崎 英宇	高田 博樹	井上 真樹	相良 吉正
	山崎 浩次郎	布井 隆行		

12:30～ ルーム開場

13:30～14:00 開会式

- オープニングビデオ
- 開会の辞
- 式辞
- 挨拶
- 祝辞/熊本県知事 蒲島 郁夫様・くまモン
熊本市長 大西 一史様

14:00～14:40 基調講演①

歯科医療と口腔健康管理の過去・現在・未来

公益社団法人 日本歯科医師会 会長 ほり けんろう堀 憲郎

14:45～15:25 基調講演②

認知症と歯科

～認知症になる前にすること、
認知症になったらすること～

日本歯科大学 教授 きくたに たけし菊谷 武

15:30～16:30 特別講演

この国の行方 -日本の在るべき姿-

ジャーナリスト さくらい櫻井 よしこ

16:30～16:40 閉会式

- ペナント授受
- 次期開催県挨拶
- 閉会の辞



講演抄録

[学術講演]





基調講演 ①



歯科医療と口腔健康管理の過去・現在・未来

公益社団法人 日本歯科医師会 会長
ほり けんろう
堀 憲郎

【略歴】

1979年3月	日本歯科大学卒業	1992年6月～2005年5月	新潟県支基金審査委員
1991年4月～1997年3月	長岡市歯科医師会理事	2000年8月～2006年3月	新潟県地方医療協議会委員
1991年4月～1997年3月	新潟県歯科医師会社会保険委員	2006年4月～2011年3月	日本歯科医師会理事
1997年4月～2000年3月	新潟県歯科医師会理事	2011年4月～2015年6月	日本歯科医師会常務理事
2000年4月～2005年3月	新潟県歯科医師会常務理事	2011年4月～2015年6月	中央社会保険医療協議会委員
2005年4月～2006年3月	新潟県歯科医師会専務理事	2011年4月～2015年6月	社会保障審議会医療保険部会委員
2006年4月～2009年9月	新潟県歯科医師会常務理事	2016年3月～現在	日本歯科医師会会長
2009年10月～現在	新潟県歯科医師会顧問		

講演趣旨

新型コロナウイルス感染症で延期となっていた第73回大会が、新たな企画のもとで開催されることをお祝いし、講演の機会を頂いたことにもお礼申し上げます。

今回は歯科医師だけでなく、関係者、一般市民の皆様にもお聴きいただけると承知しており、できるだけ専門的な話を避けて、近年注目されている「口腔の健康と全身の健康の関係」や「20年後を見据えた歯科医療と口腔健康管理の役割」等を中心に、歯科界としてのこれまでの取り組みと成果、今後の目標や課題等についてお話をさせていただきます。

我が国では昭和30年代から「う蝕の洪水」といわれた時代があり、歯科界が一丸となってう蝕の予防に取り組んだ結果、令和2年度の12歳児のひとりあたりの永久歯のむし歯の数は、0.68本にまで減少するに至りました。また平成元年に展開を始めた8020運動では、運動開始当初の8020達成者は1割にも満たなかったものが、平成28年には5割を超えるなど、最も成功した国民運動の一つと評価されています。

このような歴史を踏まえ、私たち歯科医療提供者は「長寿社会においては単に長く生きることを目標にするのではなく、歯科医療の充実によって『食べる』『話す』『笑う』という生活の基本的機能を人生の最後まで全うすることを目指すという明確な方向性を得ると共に、口腔健康管理の充実を通じて、健康寿命の延伸に貢献するという具体的な目標も共有しています。

令和2年1月に始まった新型コロナウイルス感染症により、克服すべき新たな課題も生じていますが、「新しい日常の定着」の中で私たち歯科関係者やかかりつけ歯科医の果たす役割と責任はいつそう明確になると言えます。先行きの見えない現在ではありますが、これまで歯科界が目指し、議論を深めてきた将来構想を大胆に展開していく契機であると前向きに捉えるとともに、次の世代に託せる歯科医療の方向性を明確に示すことが、私たちの世代の責任と考えています。

基調講演 ②



認知症と歯科

～認知症になる前にすること、
認知症になったらすること～

日本歯科大学 教授
口腔リハビリテーション多摩クリニック 院長
大学院生命歯学研究科 臨床口腔機能学
きくたに たけし
菊谷 武

【略歴】

1988年	日本歯科大学歯学部卒業
2001年10月より	附属病院 口腔介護・リハビリテーションセンター長
2005年4月より	助教授
2010年4月	教授
2010年6月	大学院生命歯学研究科臨床口腔機能学教授
2012年1月	東京医科大学兼任教授
2012年10月	口腔リハビリテーション多摩クリニック 院長

東京医科大学兼任教授
広島大学客員教授
岡山大学、北海道大学、日本大学松戸歯学部、非常勤講師

【著書】

- 『誤嚥性肺炎を防ぐ安心ごはん』女子栄養大学出版
- 『歯科と栄養が会おうときー診療室からはじめるフレイル予防のための食事指導』医歯薬出版
- 『あなたの老いは舌から始まる』NHK出版
- 『ミールラウンド&カンファレンス』医歯薬出版
- 『チェアサイドオーラルフレイルの診かた』医歯薬出版
- 『絵で見てわかる一認知症「食事の困った!」に答えます』女子栄養大学出版
- 『絵で見てわかる一入れ歯のお悩み解決』女子栄養大学出版
- 『食べる介護がまるごとわかる本』メディカ出版
- 『高齢者の口腔機能評価NAVI』医歯薬出版
- 『基礎から学ぶ口腔ケア』学研
- 『図解 介護のための口腔ケア』講談社

講演趣旨

歯科診療所は、ある意味特異な医療機関と言えます。痛みや出血など症状がなくなり、齲蝕や歯周病、歯の欠損といった口の病気がいったん治癒をみた患者さんに対しても、長く継続して受診させるといったスタイルをとる。そして、おじいちゃんおばあちゃんの世代からお孫さんの世代まで世代をまたいで家族中で通院してくれている他にはない医療機関といえる。さて、ここで、継続して受診してくれている患者さんに変化はないでしょうか？認知症の初期に現れる短期記憶の障害や時間見当識障害、社会性の欠如など、さまざまな認知症に関わる症状が歯科受診の際に読み取れるかもしれません。認知症の初期には、意欲低下や嗅覚の低下なども比較的早く表れ、口腔衛生状態の維持に大きな影響を与える可能性もあります。これまで、しっかり歯ブラシができていた患者さんの変化から、このような初期症状を読み取れるかもしれません。一方で、歯科医療とは患者さんからすればどのようなイメージがあるのでしょうか？「怖い」、「痛い」、「時間がかかる」、「何度も通わないといけない」。さて？こんなイメージの歯科診療に認知症の高齢者は、歯科受診を継続してくれるのでしょうか？。多くの認知症の高齢者は歯科受診から遠ざかってしまうのが実情です。そして、歯科医療では、患者の訴えや症状を聴きながら診療を進める場面や、患者に細かな指示をしなが義歯を作っていくといった診療スタイルがある。これらも、認知症の高齢者の場合、表出が困難になったり、細かな指示に従えなくなったりと、質の高い歯科医療を受けるのには様々な困難に直面します。

本講演では、歯科医療と認知症の問題について概説します。



特別講演



この国の行方 —日本の在るべき姿—

ジャーナリスト
国家基本問題研究所理事長
さくらい
櫻井 よしこ

クリスチャンサイエンスモニター紙 東京支局の助手としてジャーナリズムの仕事を始め、アジア新聞財団 DEPTH NEWS 記者、東京支局長、NTVニュースキャスターを経て、現在に至る。2007年にシンクタンク、国家基本問題研究所を設立し、国防、外交、憲法、教育、経済など幅広いテーマに関して日本の長期戦略の構築に挑んでいる。

【略歴】
 1971～1974年 クリスチャンサイエンスモニター紙 東京支局勤務
 1975～1977年 アジア新聞財団 DEPTH(デプス)NEWS 記者
 1978～1982年 アジア新聞財団 DEPTH NEWS 東京支局長
 1980～1996年 NTVニュースキャスター
 1980年～現在 ジャーナリスト
 2007年 国家基本問題研究所 理事長に就任

【表彰歴】
 1994年 SJ賞(女性放送者懇談会賞)
 1995年 第26回大宅壮一ノンフィクション賞
 1998年 第46回菊池寛賞
 2010年 第26回正論大賞

Thinking ahead. Focused on life.



Root ZX3

一歩先のエンド治療へ

ルートZX3は、高精度な根管長測定機能に加え、高周波モジュールを追加することでHFC*機能を実現。HFCにより、組織の焼灼・凝固・切開が可能な一歩先のエンド治療を実現します。



*HFC: High Frequency Conduction 高周波通電

販売 株式会社 モリタ 大阪本社: 大阪府吹田市豊津町3-33-18 〒564-8650 T 06-6380-2525 東京本社: 東京都台東区上野2-11-15 〒110-8513 T 03-3834-6161 株式会社: お客様相談センター T 0800-222-8020(フリーコール)
製造販売 株式会社 モリタ製作所 京都府京都市伏見区東深草町680 〒612-8633 T 075-611-2141 鳥取工場 鳥取県倉吉市谷908 〒682-0964 T 0868-24-0006
販売名: ルートZX3 一般的名称: 歯科用根管長測定器(一般的電気手術器) 機器の分類: 管理医療機器(クラスII) 特定保守管理医療機器 医療機器認証番号: 302ACBZX00019000
標準価格: 根管長測定モジュール 110,000円 高周波モジュール 239,000円 ※根管長測定モジュールに接続することで使用可能になります。(消費税込) 2021年7月21日現在

プロモーションビデオ

貴金属の分析・管理から売却まで、

アサヒメタルアカウントシステム なら安心・安全に運用していただけます。

アサヒメタルアカウントシステムとは、お客様の所有する貴金属をweb上で管理し、お客様の好きなタイミングで売却できるシステムです。

万全の
セキュリティ

好きな
タイミングで
売却

売却時の
手数料
0円

システム
管理料
0円

ご来店
不要

ご利用イメージ

決済はパソコンから、わかりやすい操作でセキュリティも万全。安心してご利用いただくことができます。分析手数料はアサヒメタルアカウントシステム特別条件となります。詳しくは営業までお問い合わせください。

お客様所有の金属

撤去冠/タテ歯/
研磨機/キャスト歯

精製料相当を
控除して

弊社にて分析いた
します

WEB

午前10時30分から午前0時まで
ご利用いただくことができます

お客様の
タイミングで

売却・返却は自由に
決められます

ご購入または金地金*

※プレート・500gバー・1kgバー



ASAHI PRETEC 〒811-3136 福岡県古賀市糸ヶ浦29 TEL 092-943-2223

アサヒプリテック株式会社 福岡営業所



https://ams2.asahipretec.com/



これからも、 この街で皆さまとご一緒に



上質なくらしを提案する郷土のアパート。

